

J-07 携帯電話向けアプリケーションソフトの開発

10番 今野 智章
担当教員 昆野 幹夫

1. テーマ選定理由

私がテーマを選定した理由は、Java を利用したプログラミングを卒業研究で学んでいきたいと考え、テーマの中でも自分がゲームや地図等、生活で使用している携帯電話のアプリケーションを使用するだけではなく、自分自身でも製作してみたいと思い、「携帯電話向けアプリケーションソフトの開発」を選定しました。

2. 研究概要

研究の目的

- ・ Java を用いたアプリケーションの知識を深める。
- ・ 生活で役に立てるような携帯電話のアプリケーションを考え、生活でも利用できるものを開発する。

使用環境

OS : Windows XP
言語 : Java
携帯電話 : Docomo(i アプリ)

開発環境

- ・ Java 2 SDK, Standard Edition 1.5
(ORACLE (旧 サン・マイクロシステムズ) のサイトよりダウンロード)
パソコン上で動く Java アプリケーションを作成する為の開発キット
- ・ i ppli Development Kit (図 1)
(NTT ドコモの公式サイトよりダウンロード)
i アプリを作るための開発キットで、ボタン一つでビルドやエミュレータの i アプリの実行が行える

参考文献

- ・ Star i アプリ開発テキストブック A シリーズ対応
- ・ i アプリゲーム開発テキストブック
- ・ i アプリ Java ゲームプログラミング

(著者 布留川 英一)
(発行社 株式会社 毎日コミュニケーションズ)

3．研究計画

表1 9月までの研究計画

時期		アプリケーションの構成	Dojaの動作確認
8月	下旬	どのようなアプリケーションを作成するのか、夏休みなどを利用し、方針を決める。	サンプルプログラム等を試し、どのような動きをするか確かめる。
9月	上旬	作りたいアプリケーションに近い資料などを集め、その資料をまとめられるようにする。	資料を集めながら、その資料に近いサンプルプログラムを実行しどのような動きをするか確かめる。
	下旬	自分の作りたいアプリケーションを具体的に決め、作成に取り組められるようにする。	自分の作りたいアプリケーションに近いサンプルプログラムを実行し、作成に取り組めるようにする。

4．その他

まだ具体的にどのようなプログラムを作りたいのか決まっていないので8月中には決め、作業に取り組んでいきたいと思います



図1 サンプルプログラムの画面